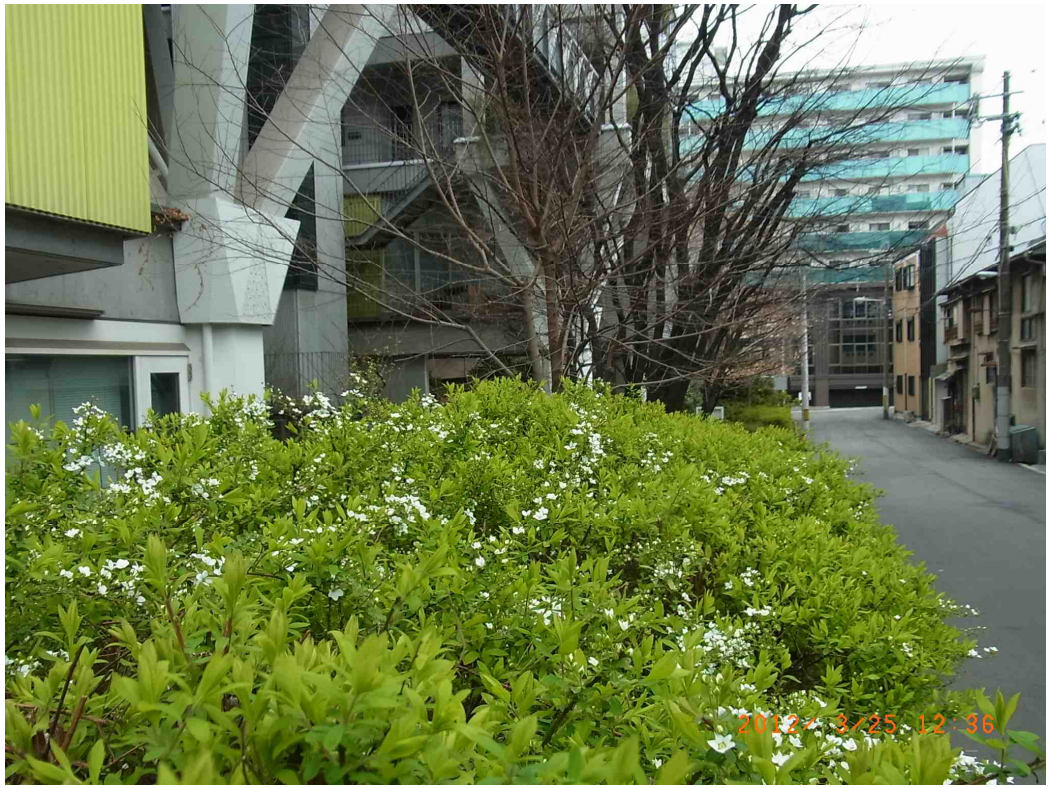
NEXT21 自然のたより・3月下旬

No.3

2012年3月下旬

日本野鳥の会大阪支部



花前線はもうすぐ

３月に入っても気温の低い日が続き、
今年は春の到来が遅れているようです。
そんな中で、爛漫の季節はもうすぐと
ユキヤナギが咲き始めました。　⇒

　前回紹介したマンサクに続き、サンシュユ・ジンチョウゲが咲き、オオシマザクラの蕾も膨らんできました。

1. サンシュユ・ミズキ科

樹形：常緑小高木
花　：3月
場所：エコロジカルガーデン

特徴①ひえつき節

「庭のさんしゅうの木」と歌に出てくるのは、サンシュユのことと思っていました。早春に咲く黄色いサンシュユが、ひえつき節の山里（宮崎県椎葉村）のイメージにピッタリとの思いがあったためです。
ところがサンシュユは中国原産で、江戸時代(1720年代)に薬用植物として渡来しているとのこと、ひえつき節は源平時代の悲恋物語なので、ひえつき節に出てくるのはサンシュユでなく、サンショウ＝山椒の木が正解のようです。

特徴②：薬用植物

サンシュユの赤い実にはタンニン酸・リンゴ酸などの薬用成が多く含まれています。漢方薬に配合され、また果実酒は疲労回復・強壮薬として効果があるとのことで、良く利用されているようです。

特徴③：赤い実は野鳥を待つ

例年赤い実(サンシュユなど)より黒い実(クスノキ)が先に食べられ、赤い実が残っていることが多い。今年万博公園では逆転し、ツグミがクスノキよりサンシュユに集まり、クスノキの実より先にサンシュユが無くなりました。今まで経験しなかったことです。

2. ユキヤナギ・バラ科

樹形：落葉低木

花　：3月～4月

場所：NEXT21

　　周囲の緑地

特徴①　純国産種

NEXT21 の春の　花のトップバッターはユキヤナギです。今年は3月に入って寒い日が続き、花も鳥も遅れがちでしたが、ようやく春の花が咲き始めました。

庭木として、公園樹として良く植えられて白い花が目立つので、園芸品種と思うほどであるが、本州南部以南の太平洋側の川岸などに自生地を持つ、純国産種です。

特徴②　名前の由来

ユキヤナギの名前の由来は花の咲く姿を見れば一目瞭然、枝ぶりがヤナギに似ていて花が雪を思わせることからつけられたようです。またコゴメバナの別名を持つが、花を米粒に見立てたものです。

****

ジンチョウゲの赤花・白花　⇒

前回つぼみの写真を掲示したので、花の写真を載せておきます。

3. フッキソウ・マンサク科

樹形：常緑亜低木
（多年草として野草図鑑に載っていることが多い）

花　：３～４月

場所：エコロジカルガーデン

特徴①雄花と雌花

フッキソウの白い花弁の先に黒い葯（花粉が入っている所）があることはわかっていたが、雄花が先端に、雌花が下部にあると知り、拡大写真してみた。

特徴②白い実

フッキソウは晩秋から冬になると、角の２本ある真珠のような白い果実を付けます。今回、花の時期になっても白い実があることを知りました。

特徴③名前の由来

葉が常緑で、よく成長して株がどんどん増えていく様子に「富」の字を あて、 白い真珠のような果実に気品がるため「貴」の字をあて、繁栄にたとえたもの。別名キチジョウソウ（吉祥草）ともいうが、ユリ科にもキチジョウソウがある。

4. ヒヨドリの古巣・シジュウカラ用巣箱

私（平）は鳥の写真をとれないので、このシリーズに鳥は登場していませんでした。しかし、NEXT21 の周囲を歩いていると、スズメ・ヒヨドリ・メジロ・シジュウカラなどの声が良く聞こえてきます。

ヒヨドリの古巣

NEXT21 のエコロジカルガーデンに昨年ヒヨドリが子育てをした名残のヒヨドリの巣が残っています。草の茎や木の小枝の他に、ビニールひもの白が目立つ巣で、都会の真ん中で巣材集めの難しさを象徴しています。

シジュウカラ用の巣箱

NEXT21 に来るシジュウカラを定着させたいと、エコロジカルガーデンにＦさんが巣箱をかけました。巣箱の巣穴が 28mm でシジュウカラ、30mm にするとスズメが入ると言われていますので、どちらかが入ってくれればと楽しみにしています。